
1936年に中国企業が貸し出した船舶の賠償訴訟で 中国の裁判所が商船三井の貨物船差し押さえ

Edited By LogisticsToday On 2014/04/20

上海海事法院为执行生效判决依法扣押商船三井株式会社的船舶

时间：2014-04-19

上海海事法院が商船三井の船舶差し押さえを発表

中国の上海海事法院（海事裁判所）は19日、商船三井所有のばら積み貨物船「バオスティール・エモーション」を浙江省のマジシャン港で差し押さえると発表した。

現地報道によると、日中戦争前の1936年に中国企業が日本の海運会社に2隻の船舶を貸し出したものの、その後の戦争で日本軍が徴用して結果的に沈没したことから、中国企業経営者の親族が1988年に日本の海運会社を引き継いだジャパンラインを相手取り、賠償請求訴訟を起こした。

上海海事法院の発表では、その後、ナビックスラインを引き継いだ商船三井に対し、29億1647万円の支払いを命じた判決が2010年に確定。親族と商船三井は和解交渉を続けたが不調となり、今回の差し押さえに至った。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/102718>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.